

2019年6月18日

「第15回 JTB交流創造賞」作品募集

7月16日（火）募集開始 9月30日（月）締切

- JTB 交流創造賞「組織・団体部門」 : 新たな知恵や特性を活かした観光交流・地域活性化の取り組みを募集
JTB 交流創造賞「一般体験部門」 : 人や文化の交流による心に残る旅のエピソードを募集
JTB 交流創造賞「ジュニア体験部門」 : 旅での人・自然・文化・歴史等との感動体験を募集

株式会社 JTB（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高橋広行 以下、JTB）は、7月16日（火）より「第15回 JTB 交流創造賞」の募集を開始します。

「JTB 交流創造賞」は、2005年の創設以来、地域に根ざした持続的な交流の創造と各地域の魅力の創出、地域の活性化に寄与することを目的として、今年で15回目を迎えます。

地域（観光地）の組織・団体の取り組みを対象とした「組織・団体部門」と一般の旅行者を対象とした「一般体験部門」、小中学生対象の「ジュニア体験部門」の3部門で募集を行い、それぞれ優秀な作品について厳正な審査を経て表彰します。

＜参考＞第14回 受賞作品

- ・「組織・団体部門」最優秀賞：
車いす紅蓮隊(ぐれんたい)・カムイ大雪バリアフリースターセンター（北海道旭川市）
タイトル：「障がい当事者がリードする誰にもやさしいまちづくり」
- ・「一般体験部門」最優秀賞：
宮森 庸輔さん タイトル：「ジャクルと雨とカステラと」
- ・「ジュニア体験部門 小学生の部」最優秀賞：
小学生の部：田井 七海さん タイトル：「道あん内のススメ」
- ・「ジュニア体験部門 中学生の部」最優秀賞：
中学生の部：池田 幹央さん タイトル：「第二のふるさと」
- ・2018年度 応募作品数
組織・団体部門 20 作品、一般体験部門 66 作品、ジュニア体験部門 721 作品

選考は6人の選考委員によって行い、観光振興・地域活性化の貢献度、新しい出会いの体験度合いを審査基準とします。なお、組織団体部門で選考された作品に対しては、過去、商品化等によりその魅力を日本全国に発信しました。

JTBグループは、事業パートナーやお客様とともに、地域が本来持ち合わせている自然や文化、歴史などの価値を損なうことなく、地域の特性を存分に活かした持続的な「交流」の創造・活性化へ寄与していくことを目的に、企業の社会的責任と「地域の誇りとなる持続可能な観光」、「旅行者への新鮮な感動」の実現を支援してまいります。

＜報道関係の皆様からの問合せ先＞
JTB広報室 TEL：03-5796-5833

第15回 JTB 交流創造賞の募集概要

1. 各賞の内容

(1) JTB 交流創造賞「組織・団体部門」

国内外を問わず、地域固有の魅力の創出・需要の創造、地域活性化、双方向の文化交流等、一過性のイベントではなく「持続可能な観光」を創造したオリジナリティが活かされた取り組み事例を募集します。

最優秀賞（1作）：賞金 100万円 優秀賞（2作）：賞金各 20万円

(2) JTB 交流創造賞「一般体験部門」

国内外を問わず、実際の旅行体験（過去1年以内）に基づき、人と地域、そして文化との新しい出会いである「交流創造」を題材とした体験記を募集します。

最優秀賞（1作）：賞金 20万円 優秀賞（2作）：賞金各 5万円

(3) JTB 交流創造賞「ジュニア体験部門」

家族や友人との「旅（※1）」で発見したことや、人との出会い、自然・文化・歴史とのふれあいなどの交流体験において感動したことについての作文を募集します。

（※1）「旅」とは宿泊を伴って遠くに出かけるものだけではなく、徒歩や自転車、列車、車などで出かけたこと、あるいは自分の住むまちを訪れた人との出会いなども含みます。

<募集対象>

①小学生の部 [小学校1～6年生]

②中学生の部 [中学校1～3年生]

最優秀賞（1作）：旅行券 10万円 優秀賞（2作）：旅行券 3万円

入選（5作）：図書カード 1万円 （※小学生、中学生ごとに選定します。）

2. 応募・選考方法

(1) 応募条件：

①JTB 交流創造賞「組織・団体部門」

日本語による作品

②JTB 交流創造賞「一般体験部門」

日本語による作品／5,000字以内／過去1年以内の体験／未発表のもの／お一人様1点

③JTB 交流創造賞「ジュニア体験部門」

日本語による作品／小学生の部 200字以上 1,200字以内、中学生の部 1,200字以上 2,000字以内（題名、学校名、学年、氏名は欄外に記載。字数には数えない）／過去1年以内の体験／自筆による手書き／200字詰めまたは400字詰め原稿用紙／絵や写真の添付も可／未発表のもの（学校内展示は可）／お一人様1点

(2) 応募方法

①JTB 交流創造賞「組織・団体部門」

②JTB 交流創造賞「一般体験部門」

JTB 交流創造賞 HP : <https://www.jtb.co.jp/chiikikoryu/koryusouzousho/>

上記 URL より応募用紙をダウンロードいただき、所定の項目に記載の上、郵送またはインターネット経由でご応募ください。

③JTB 交流創造賞「ジュニア体験部門」

郵便応募にて、応募の際は原稿用紙と以下の必要事項を記入した応募用紙※を添付の上、JTB 交流創造賞事務局まで送付ください。

・応募部門（「JTB 交流創造賞ジュニア体験部門小学生又は中学生の部」と明記）

<個人応募>・題名 ・応募者氏名（ふりがな） ・性別 ・学校名・学年 ・住所

・保護者氏名・続柄 ・保護者電話番号 ・保護者メールアドレス

<学校応募>・題名 ・応募者氏名（ふりがな） ・性別 ・学校名・学年 ・学校住所

・応募担当者氏名 ・学校電話番号 ・メールアドレス

<共通>・本賞を知ったきっかけ

1.JTB 店頭 2.JTB 営業担当 3.JTB 交流創造賞 WEB サイト 4.朝日小学生新聞 5.朝日中高生新聞 6.読売 KODOMO 新聞 7.その他 WEB サイト 8.学校からの紹介 9.知人の紹介 10.その他

※応募用紙は、「JTB 交流創造賞 WEB サイト」からダウンロード、プリントして使用してください。学校からの応募の場合も1作品ごとに1枚ご記入ください。なお、市販の原稿用紙でも可能です。

(3) 募集開始 2019年7月16日(火)

(4) 締め切り 2019年9月30日(月) 当日消印有効

(5) 発表

入選者には本人宛に直接連絡するとともに、JTBWEB サイト上および広報・PR 活動において発表します。(2020年1月予定)

※応募作品は未発表、かつ応募者自身による作品とし、著作権は著作者に帰属します。ただし、JTB 交流創造賞事務局、および株式会社 JTB、JTB グループは、JTB 交流創造賞普及の目的で実施する広報・PR 活動、印刷物、WEB サイト、展示物などに応募作品や写真などを無償で使用できることとし、応募者はこれを承諾するものとします。

(6) 選考委員

安島 博幸 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授

松平 定知 京都造形芸術大学教授

森 まゆみ 作家、谷根千工房主宰

政所 利子 株式会社玄 代表取締役

見城 美枝子 青森大学副学長、エッセイスト、ジャーナリスト

伊藤 嘉道 株式会社 JTB 常務取締役

(7) 選考基準

①JTB 交流創造賞「組織・団体部門」

下記基準をもとに選考委員が総合的に判断いたします。

- ・民間、市民が中心となり、発展途上であるが将来性が期待できる。
- ・一過性のイベント等でなく、持続的な観光振興や地域活性化への波及や貢献が見込まれる。
- ・地域資源の活用など地域の独自性が活かされている。
- ・地域の中で、様々な人、組織が連携している。
- ・人、地域、文化の交流創造に資している。

②JTB 交流創造賞「一般体験部門」

・国内外を問わず、ご本人が体験した地域、自然、文化、人々との交流や表現の斬新さ。

③JTB 交流創造賞「ジュニア体験部門」

・人との出会い、自然・文化・歴史とのふれあいなどにおいて感動したことについての内容および表現の伝わりやすさ。

3. 応募先・問合せ先

JTB 交流創造賞事務局 (株式会社 JTB ビジネスネットワーク内)

TEL : 03-5396-8149 (10:00~17:30 土・日・祝日除く) FAX : 03-5396-8140

E-mail : jtb-ksouzousho@jbn.jtb.jp

4. ホームページアドレス : <https://www.jtb.co.jp/chiikikoryu/koryusouzousho/>